

令和5年度政策提案型パブリック・ディベート全国大会
よくあるご質問への回答

Q. 大会申込み後に参加できなくなったり、新たに参加を希望する生徒がいたりした場合、出場選手のエントリー変更は可能ですか。

A. 出場選手のエントリー変更は可能です。

大会前の指定日時までに参加選手を事務局へメールで提出していただきますが、不測の事態で急な変更が必要になる場合は、事務局へ電話をしてください。

Q. 8人チームで出場し、第1試合で4人、第2試合で残りの4人がスピーチをしようと考えていますが、第1試合（又は第2試合）でスピーチをしない選手も、準備時間中の話合いに参加させたいため、第1試合（又は第2試合）の選手席に座ることは可能ですか。

A. 可能です。

大会前の指定日時までに参加選手を事務局へメールで提出していただきますが、そのリストに記載がある選手であれば選手席に座ることが可能です。準備時間中の話合いには、選手席に座らない選手も参加できます。

なお、ルール2（1）に記載のとおり、出場するメンバーは、最低1回はスピーチ（質疑応答含む）を行わなければなりません。

Q. 選手がスピーチをしている時に、そのステージを担当する選手以外の方が、スピーチをしている選手に対し、口頭でアドバイスを送っても良いでしょうか。

A. できません。

各ステージは、担当する生徒に任されます。

ただし、アドバイスの内容を紙に書いて選手に渡すことは、禁止されてはいません。しかし、スピーチしている最中にアドバイスの紙を見ると、選手が、かえってスピーチに混乱する場合もあることに留意してください。

Q. 対戦チームが似た内容の政策提案をした場合でも試合は成立しますか。

A. 成立します。

政策提案型パブリック・ディベートは、ルール4（2）②チーム評価の記載のとおり、「ア政策提案の効果等」の他に「イ質疑・意見交換」や「ウ再提案する政策の相手よりも勝る点」も評価の対象としています。政策提案以外のステージにおける討論で評価に差が出ることから、似た内容の政策提案だとしても、試合は成立します。

また相手との細かな違いを見つけ出し、質疑・意見を交わすことで、より質の高い討論になると考えています。

Q. ガイドライン5.（2）で政策提案時の掲示物は、A4～A3サイズのパネル1枚とありますが、どのように掲示したらいいでしょうか。

A. A4～A3サイズの紙1枚をカメラの前にかざしてください。試合中に掲示できるのは1

枚だけです。なお、資料の文字を反転して作成する必要はありません。また、システムの都合で、パワーポイント等電子データの使用は認められませんのでご注意ください。

Q. スピーチの際に、持ち込んではいけないものはありますか。

A. 試合に必要なパソコンは使用してください。それ以外の携帯電話（スマートフォン含む）・スマートウォッチ等は試合に持ち込んではいけません。

Q. 政策の提案や再提案をするときに、ワークシートの通りに話さなくてははいけませんか？ルールの時間内におさまりきりません。

A. ワークシートの通りに話すルールはありません。ワークシートは、ルールやガイドラインにそった政策提案や再提案のスピーチを考える際に、参考としていただく資料です。あくまで参考資料ですので、ワークシートの通りに話さなくてはならないということではありません。ワークシートを参考に、審判や聴衆に伝わる構成を工夫して下さい。

<2023年11月29日追加>

Q. 発表用資料（原稿・提示物）について、自治体名は出しますが、先駆事例などカーボンニュートラルに取り組まれている会社や組織名は、実名で説明しても良いですか。事例引用する場合、当該団体にパブリック・ディベート全国大会で名称等を引用する旨承認を求めする必要がありますか。

A. 引用は、第三者に公開されていて、誰もがアクセスできるもの（著作物もしくはホームページ）からお願いします。個人のブログなどは避けてください。その場合は、実名で説明いただいてもかまいません。

発表用資料のなかで、その引用元がわかるように明示してください。

上記の点が発表用資料のなかで示されていれば、原則として、引用の承認を求めする必要はありません。公開が前提となっている情報を、引用して利用することと考えます。ただし、その引用する著作物ないしホームページに、当該の「資料を引用する場合は連絡下さい」等の記載がある場合は、引用元に連絡をお願いします。

Q. 全体評価は試合評価＋チーム評価ということですが、試合評価は、例えば最大5点だった場合、Aチーム5点、Bチーム5点で合わせて10点という計算になるのですか。

A. いいえ。5点はその試合の評価になり、AチームもBチームも5点になります。（全国大会ルール4.（2）参照）

（補足）聴衆にとって聞き取りやすく分かりやすいスピーチの場にしてほしいという考えに基づきこのルールを定めています。相手の提案を聞き疑問を指摘することで、それぞれが自分の政策を磨いていける場になることが大事だと考えているため、試合評価の点数は両方のチームに同じ点数が付与されます。そこにチーム評価として、どちらの方の政策に説得力

があり、優位性があったのかという点から3人の審判が投票します。最終的にはその合計点で試合の勝者が決まっていきます。

Q. 試合評価（最大5点）、チーム評価（最大3点）は累積していくのか。グループリーグの勝ち上がりは勝敗で決めるのか、成績得点で決めるのか。

A. 「決勝進出チームの選抜などのために順位を決定する場合は、第1に成績得点の合計数、第2に勝利数を基準とする。それでも同順位のチームがある場合は、抽選による。」（大会ルール4.（3）①より）

<例>この場合、全勝したZ1ではなく、成績得点の最も高いZ2が準決勝にすすみます。

チーム	Z 1		Z 2		Z 3		Z 4	
1回目	3 + 2 = 5点	勝	3 + 1 = 4点	負	2 + 1 = 3点	負	2 + 2 = 4点	勝
2回目	3 + 2 = 5点	勝	3 + 2 = 5点	勝	3 + 1 = 4点	負	3 + 1 = 4点	負
3回目	2 + 2 = 4点	勝	5 + 1 = 6点	負	5 + 2 = 7点	勝	2 + 1 = 3点	負
	成績得点14点	3	成績得点15点	1	成績得点14点	1	成績得点10点	1

お問い合わせ先 全国大会事務局 zenkoku@energy-kyoiku.meti.go.jp

電話：03-3473-7871（土・日・祝日を除く10：00～17：00）